

石川県糖尿病療養指導士研究会

代表:浅野 昭道(石川県立中央病院)

1. これまでの取組内容
2. 具体的な成果
3. 今後も継続して実施する必要性
4. 今後の取組と期待される効果

1. これまでの取組内容

目的

- 石川県の糖尿病療養指導士の育成および活動支援を行い、糖尿病の適正な療養指導の発展普及を通じ、地域医療に貢献することを目的とする。

主な取り組み内容

- 糖尿病療養指導士を目指すコメディカルを対象に、糖尿病療養指導に必要なカリキュラムの研究会および講演会を開催する。
- 糖尿病治療について広く市民に啓発を行い地域に還元する。
- 医療従事者への情報提供を目的にホームページを開設、運用する。
- 糖尿病療養指導士を対象に、糖尿病の療養指導のレベルアップを目指し、糖尿病療養指導研修を継続して開催する。
- 平成27年6月より石川県糖尿病療養指導士の育成開始

2. 具体的な成果

- 平成27年6月より石川県糖尿病療養指導士の育成開始し、令和4年3月時点での認定者数 **264名**
- 令和3年度よりeラーニング研修開始
- 平成30年度まで総会・研修会（参加者約**100名**）、能登地区研修会、糖尿病療養指導研修会を開催するとともに、糖尿病ウォークラリー、県糖尿病フォーラムに協力してきた。
- 令和3年度は、研修会を**2回**開催し、延べ**100名**以上の参加があった。

令和3年度石川県糖尿病療養指導研修制度カリキュラム(eラーニング)

前半8講座

	タイトル	講師
1	糖尿病とは(総論)	金沢大学附属病院 篁 俊成 先生
2	慢性合併症 (細小血管合併症:腎症・末梢神経障害)	金沢医科大学病院 北田 宗弘 先生
3	大血管障害	金沢医療センター 粟田 征一郎 先生
4	糖のはたらきと臨床検査	北陸大学 油野 友二 先生
5	ちゃんと食べよう ～食事の基本～	加賀市医療センター 田中 栄理子 先生
6	糖尿病薬の基本(内服薬)	石川県立中央病院 安田 明子 先生
7	糖尿病薬の基本(注射薬)	石川県済生会金沢病院 後藤 義之 先生
8	糖尿病患者の生活を知るためのポイント	石川県立中央病院 八木しのぶ 先生

後半8講座

	タイトル	講師
9	低血糖とシックデイ	石川県立中央病院 浅野 昭道 先生
10	眼科領域	みやうち眼科 宮内 修 先生
11	糖尿病とつながる	白石歯科クリニック 白石 晃一郎 先生
12	腎症進展予防のための看護	小松市民病院 山本 恵美子 先生
13	糖質制限の是非を考える	金沢医科大学病院 金森 恵佑 先生
14	フレイルを防ごう、運動がなぜ必要か	金沢赤十字病院 松井 伸公 先生
15	糖尿病の地域連携	芳珠記念病院 臼倉 幹哉 先生

3. 今後も継続して実施する必要性

- 石川県糖尿病療養指導士を育成し、技術の向上を図ることで県内の糖尿病治療の質の向上に寄与する。
- 県内全域で糖尿病療養指導に対する共通の認識を持つことで、患者が他の医療機関を変わっても安心して治療の継続ができる（特に専門医の少ない能登地域で期待されている）
- 他の職場や多職種の様態を知り、専門職の経験・知識が拡大する。

4. 今後の取組と期待される効果

- コロナ後は、対面での研修会を実施して会員同士のつながりを強化し会費を確保する。
- 情報伝達をホームページ、メール配信で行っているが、LINE等のツールも利用して広報活動を活発化させる。
- 研修会は、参加の利便性を考慮しeラーニングやweb配信を継続する。
- 活動を発展させることで、県内の糖尿病療養指導能力の向上させることができると思う。